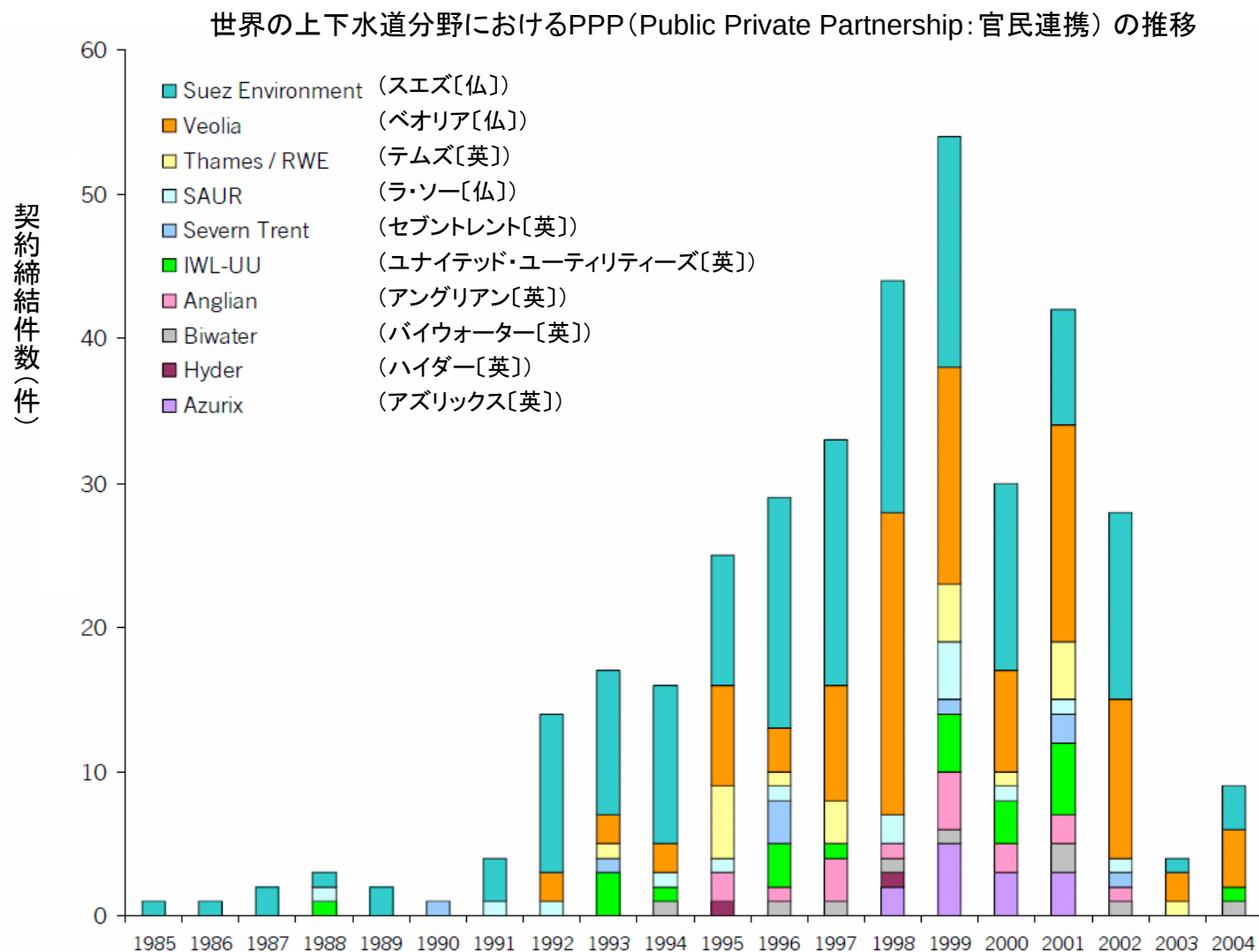


水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

○上下水道分野におけるグローバル化



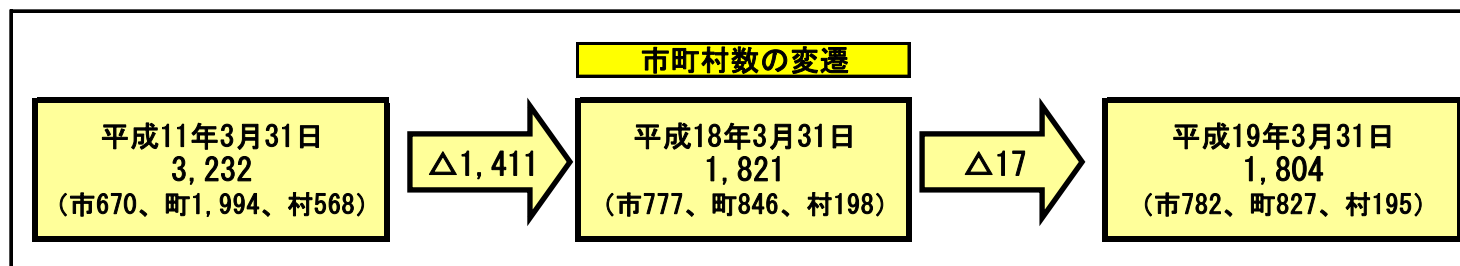
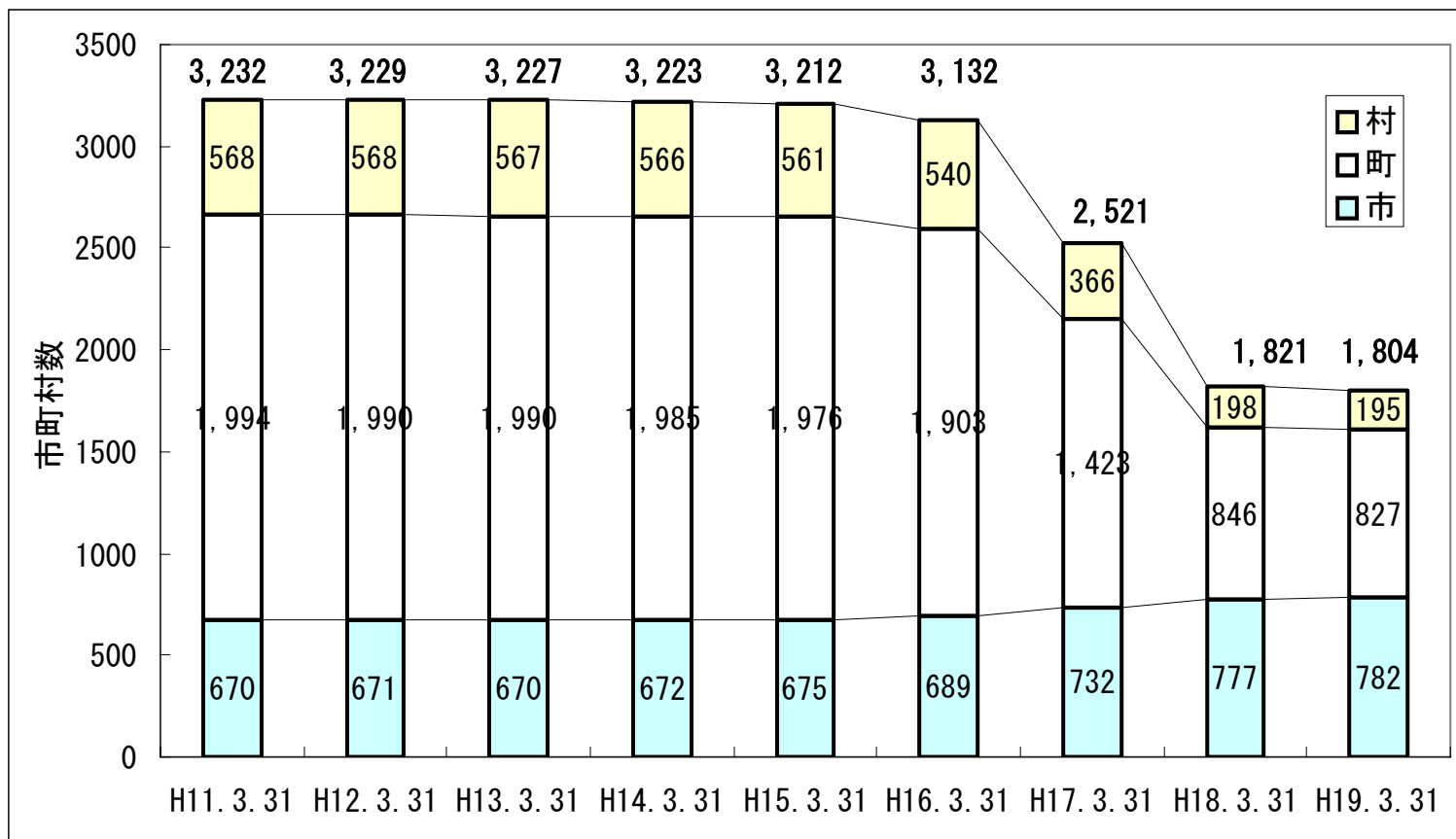
出典: OECD Global Forum on Sustainable Development “Public-Private Partnerships in Water Supply and Sanitation – Recent Trends and New Opportunities(2006年11月)

An international operator bringing water services to the poor, Alain Mathys, Suezより

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

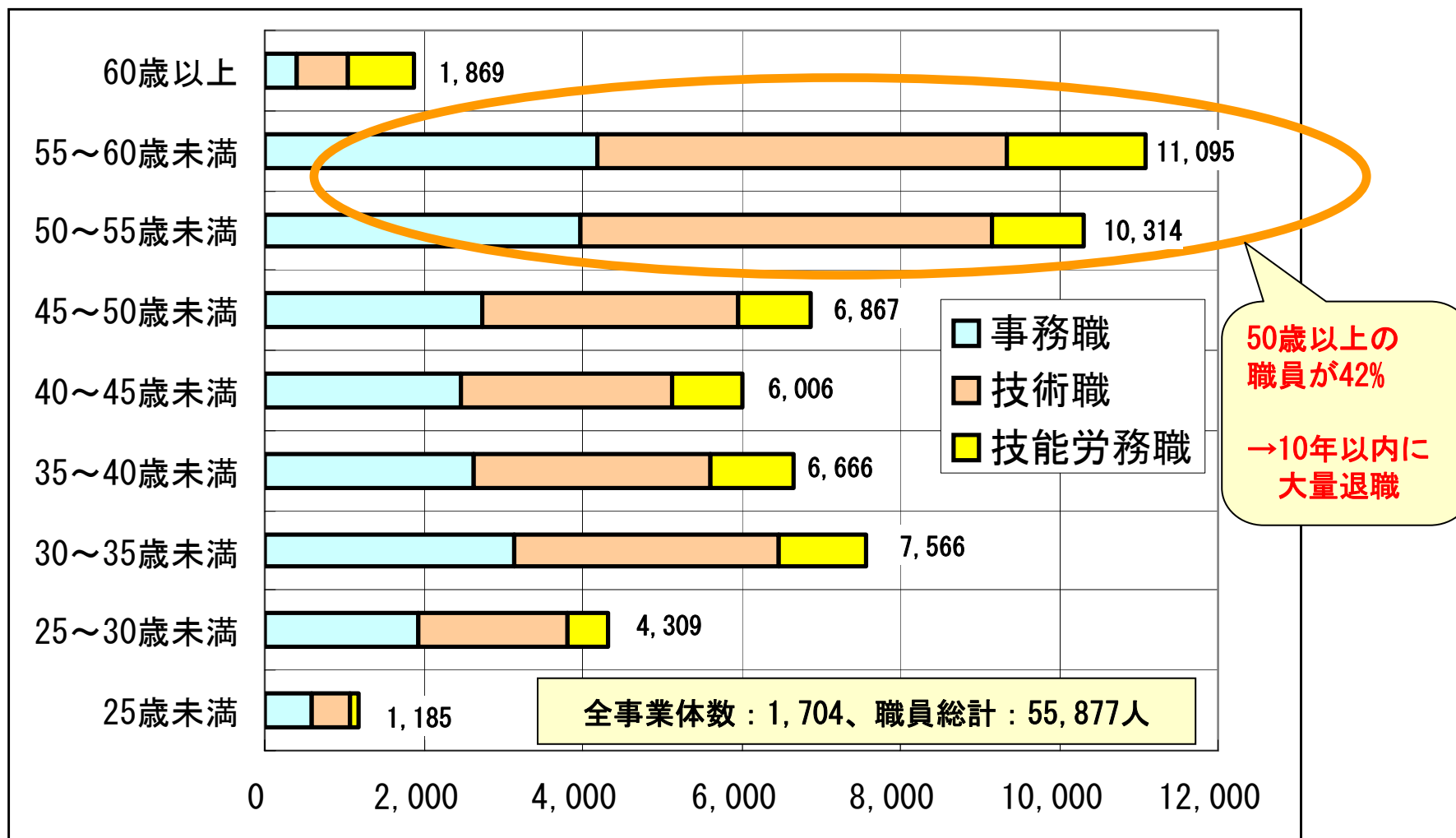
○市町村の合併状況（市町村数の推移）



出典：市町村の推移グラフ（総務省）

水道ビジョンレビュー
1. 水道ビジョンの目的

○水道事業者における全職員の年齢別割合



出典：水道統計（平成17年度）

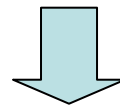
水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

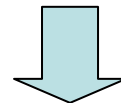
水道ビジョンの記述

以上のことから、水道分野もこれまでの発展に立脚して、これらの課題に対処しつつ、国民への給水サービスを一層向上させるための新たな取り組みを着実に展開する時期に来ていると言えよう。水道及び水道行政の抱える課題や議論の方向性については、平成に入ってからでは、生活環境審議会答申「今後の水道の質的向上のための方策について」（平成2年11月）や「21世紀に向けた水道整備の長期目標（ふれっしゅ水道）」（平成3年6月）に示され、そして、平成11年7月に水道基本問題検討会によってまとめられた「21世紀における水道及び水道行政のあり方」に詳細かつ具体的に整理されており、その政策提言のいくつかは、平成13年の水道法改正等によって制度的な対応がなされているところである。

「今後の水道の質的向上のための方策について」（平成2年11月）
「21世紀に向けた水道整備の長期目標（ふれっしゅ水道）」（平成3年6月）



「21世紀における水道及び水道行政のあり方」
（水道基本問題検討会、平成11年7月）



平成13年水道法一部改正

出典：水道ビジョン

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

水道ビジョンの記述

しかしながら、我が国の水道を取り巻く環境は刻々と変化しており、特に個人用井戸における水質問題や市町村合併における水道事業の在り方など、新たな課題も含め水道に関わる課題は広がりを見せている。

○飲用井戸の設置数と汚染状況

対象	設置数
条例	*6,695
要綱・要領等	606,665 *108,743
対象外	314,292 *74,389
合計	927,642 *189,827

*台帳等により実数が把握できている井戸数

平成17年度厚生労働省調べ

[参考]

山岳地の水場:95/234が大腸菌群陽性
(日本トイレ協会、2004年)

